

■ 就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針【概要版】

本市では就学前の子どもたちの保育・教育について、社会情勢の変化による保護者のニーズの変化にどのように対応していくか、幼保一体化も視野に入れ議論を進めてきました。そして平成21年9月に「幼児教育のあり方と適正配置についての基本方針」を策定し、こども園の整備を行うなど、幼保一体化に取り組みました。

しかしながら、策定からおよそ10年の歳月が経過し、これまでの時代の変化やニーズをふまえるとともに、平成31年3月に榊原市教育委員会が策定した「榊原市教育施設再配置基本方針」とも連動して、「就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針」として改訂しました。令和元年10月からは幼児教育・保育無償化が実施されることも踏まえて、今後、この基本方針に基づき、榊原市全体としての具体的な実施計画を策定して適正化に取り組んでまいります。

1. 公立保育所・幼稚園の現状・課題

保育所と幼稚園の現状と課題

保育所は社会での就労が母親(女性)にとって大きく影響し、それに関連して保育所保育の重要性が求められるようになったため、少子化にも関わらず入所希望は増加傾向にあります。

一方で幼稚園(こども園を除く10園)は、園児数の減少が著しく、年長・年少ともに複数クラスとなっているのは1園のみとなっています。

園児数が少ない園では、人間関係の固定化や子ども同士が切磋琢磨する機会の減少という教育の質の低下につながる懸念が生じています。

保育所の現状	平成30年度定員810名に対し入所児童数は804名と定員近くまで達しており、近年の少子化にもかかわらず保育所への入所希望が増加。
幼稚園の現状	園児数の減少傾向は著しく、ピーク時である昭和53年度の3,092人から平成30年度は592人と約19%まで減少。

2. 就学前の保育・教育のあり方についての基本的な考え方

今後の就学前の保育・教育のあり方について

これまでの幼児教育は保育所、幼稚園という別々の制度の中で、保育・教育の環境を提供してきました。

しかし、近年の少子化や核家族化、女性の社会進出など子育て環境も変化し、幼児教育に求められることがらにも変化が見られます。例えば、多くの保護者はより質の高い保育・教育の提供、3歳児保育、給食の実施などの願いを抱いています。これまでの「保育所は保育」「幼稚園は教育」という概念は双方の施設ともその基本は根底に置くものの、同じような保育・教育が受けられることが求められています。

榊原市としては、就学前の保育・教育については一体的に行うことが、子どもたちにとってふさわしいと考えます。そのため、これまで市が取り組んできたこども園の検証も踏まえつつ、今後の方向性を探っていく必要があります。

今後の取組のために

- ◆保育・教育に対するニーズの把握
- ◆就学前の保育・教育統一カリキュラムなどの活用
- ◆公・私の協調・連携

これまでの流れ

平成21年9月
幼児教育のあり方と適正配置についての基本方針策定

平成24～26年
基本方針を基に幼保一体化の取組として榊原市にこども園5園を整備

策定から10年

平成31年4月
「就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針」として見直し

3. 公立保育所・幼稚園の適正配置実施計画の策定について

適正配置の実施にあたっては以下の適正規模・適正配置の基本的な考え方を踏まえ、実施計画を進めていきます。

①適正規模の基本的な考え方

クラス編制・教員配置の基準について

- ・こども園の長時間部(保育所部分)と短時間部(幼稚園部分)は、保育所の4歳・5歳児の基準とします。
- ・幼稚園については、1クラス34名を維持し、それに伴った教員を配置します。
- ・幼保一体化施設(こども園)、幼稚園ともに特別な支援を要する幼児の入園に際しては職員の加配に配慮します。
- ・認定こども園については、クラス編制や配置については、子どもの状況と実態を考え合わせ、必要な配置基準とします。

クラス構成数について

- ・こども園については、施設の収容数に応じて長時間部(保育所部分)と短時間部(幼稚園部分)の定員を設けます。
- ・幼稚園については各学年複数クラスの編制とします。
- ・認定こども園を新たに設置する場合については、子どもの状況と実態を考え合わせ、必要な構成とします。

②適正配置の基本的な考え方

- ・適正配置については、各学年複数クラスを設けることが必要です。また、教育的効果を考えるとき、適正規模が満たされない幼稚園については、一定規模の園児数を満たすクラス編制ができるよう適正化を図ることが必要です。

③公立施設の再編整備についての基本的な考え方

- ・公立施設の適正規模・適正配置に伴う再編整備については、段階的に実施することが望ましいと考えます。再編整備の方法については、統廃合だけでなく、指定管理者制度などの民間活力の導入、認定こども園、幼稚園・小学校の連携についても検討します。
- ・幼稚園の3歳児保育の実施については十分な配慮・検討を行います。
- ・統廃合を行う際には、原則的に施設の増築はせず、現在の施設を利用します。
- ・保育・教育の用に供されなくなった施設については地域によって活用方法の考え方には違いがあると考えられますが、跡地の売却も含めて検討していきます。
- ・一時的な検討に終わることなく、継続的に各園の状況を鑑みながら取り組む必要があります。

適正配置の際の留意事項

適正配置の実施にあたっては、基本的な考え方に加え、以下の留意事項も踏まえ、実施します。

通 園 区 に つ い て : 適正配置計画を実行する際には、卒園後、進学する小学校、中学校は同じであることが望ましい点を考慮し当面は現状の中学校区内を原則とします。しかし、私立保育園・幼稚園への通園希望者もあり、少子化社会が進行する中にあることは、園の適正規模の確保が難しいことも想定され、通園区については、小・中学校と必ずしも同じにはならない可能性があります。

通園の安全確保、通園支援: 通園区の変更により、通園が著しく困難となるケースは、支援の方策、その支援距離の目安についても榊原市教育施設再配置基本方針を参考にしながら検討します。

新しい保育・教育環境について : 再編整備の実施にあたっては、子どもたちの生活の連続性とリズムの多様性に留意し、保育・教育が途切れることのないような工夫が必要です。

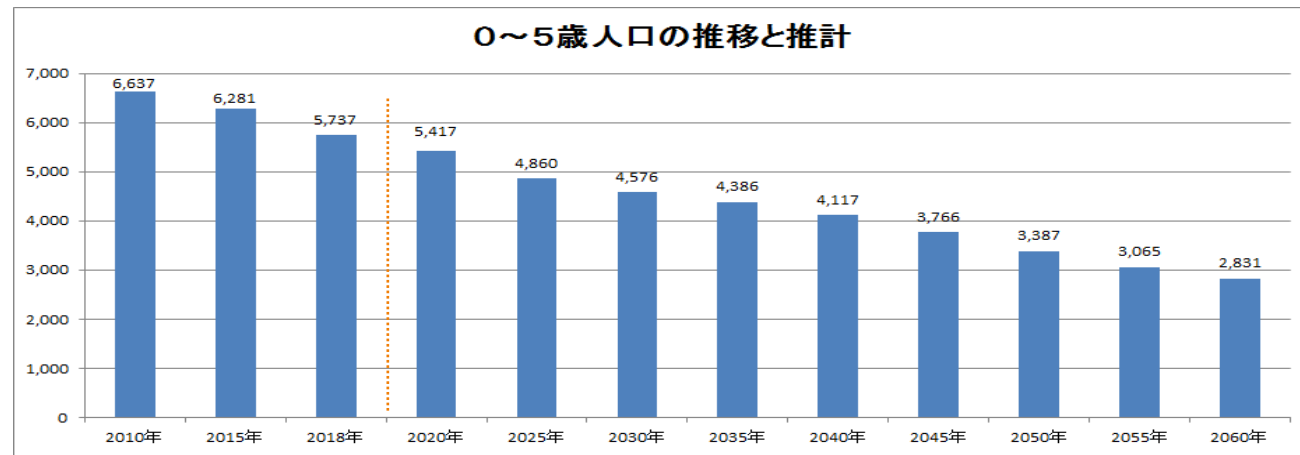
参考資料

0～5歳人口推計

国立社会保障・人口問題研究所(以降、社人研)が公表している推計方法※に基づき、榎原市の0～5歳人口を推計した結果では、2018年の5,737人から2060年には2,831人となり、2,906人減少する見込みです。

※社人研推計:現状のまま、出生率、人口の移動、死亡率等が推移していくと仮定し推計した値。

※0～5歳人口:社人研0～4歳推計値に社人研5～9歳推計値を5で割った数を5歳推計値として合計した値。

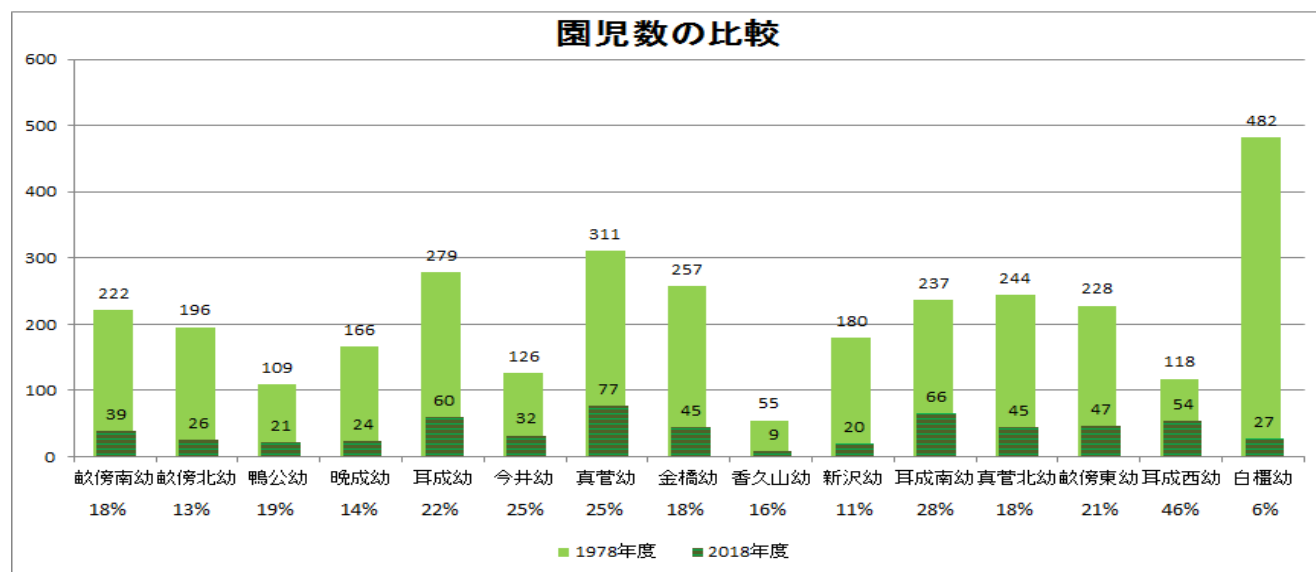


幼稚園の園児数の比較

園児数増加のピーク※を迎えた1978年度と2018年度の比較ではすべての幼稚園で園児数が大きく減少しています。

※耳成西幼のピーク時は1982年度の値。

※白檀幼のピーク時は白檀南幼と白檀北幼の園児数の合計。



主たる建物の建築年数

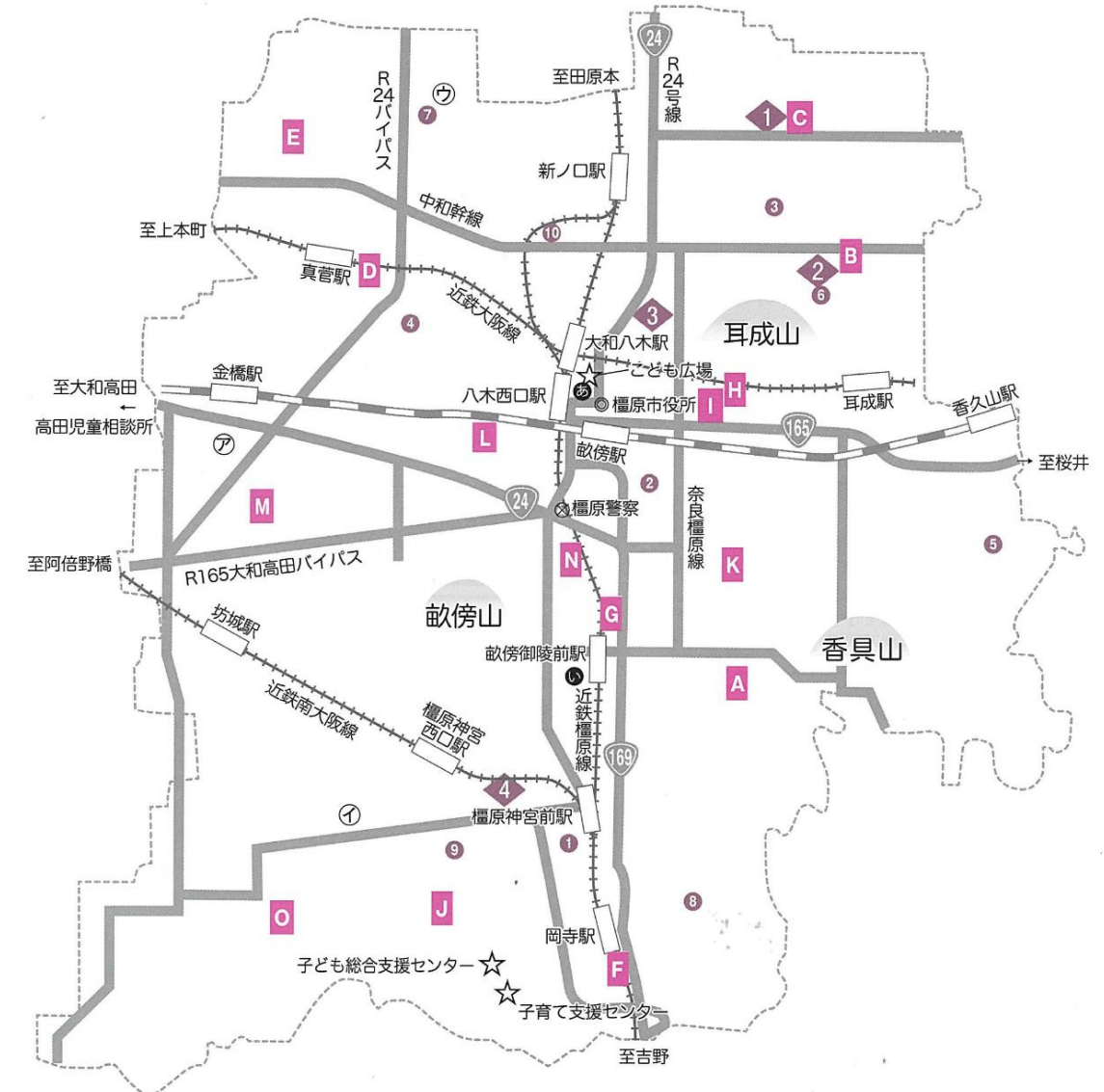
2018年時点主たる建物の建築年数が40年以上となる施設は4幼稚園(耳成南幼、真菅北幼、畝傍東幼、白檀幼)となっています。

施設名	築年数(年)
第1こども園(藤原京・鴨公幼)	22
第2こども園(今井保・今井幼)	18
第3こども園(金橋保・金橋幼)	33
第4こども園(大久保・畝傍北幼)	37
第5こども園(川西・新沢幼)	37
こども園平均	29.4

施設名	築年数(年)	施設名	築年数(年)
畝傍南幼稚園	34	耳成南幼稚園	43
晩成幼稚園	39	真菅北幼稚園	43
耳成幼稚園	36	畝傍東幼稚園	41
真菅幼稚園	37	耳成西幼稚園	38
香久山幼稚園	39	白檀幼稚園	40
幼稚園平均	39		

赤字:こども園、幼稚園それぞれの平均値を超える場合を示す。

榎原市内の保育所(園)・認定こども園・幼稚園マップ



番号	園名	所在地
①	くちなし幼稚園	葛本町
②	常盤幼稚園	常盤町
③	のぞみ幼稚園	新賀町
④	聖心幼稚園	久米町

番号	園名	所在地
①	畝傍南幼稚園	見瀬町
②	晩成幼稚園	縄手町
③	耳成幼稚園	葛本町
④	真菅幼稚園	曾我町
⑤	香久山幼稚園	膳夫町
⑥	耳成南幼稚園	山之坊町
⑦	真菅北幼稚園	大垣町
⑧	畝傍東幼稚園	大塚町
⑨	白檀幼稚園	白檀町
⑩	耳成西幼稚園	上品寺町

番号	園(所)名	所在地
A	(福)ともえ学園	田中町
B	(福)常盤保育園	常盤町
C	(福)くちなし保育園	葛本町
D	(福)このみ学園	曾我町
E	(福)ひかり保育園	中曾司町
F	(福)愛育保育園	見瀬町
G	あおば保育園	大久保町
H	おひさまほいくえん	醍醐町
I	にこにこパーク保育園	醍醐町

番号	園(所)名	所在地
J	(福)榎原保育園	白檀町

※(福)は社会福祉法人

番号	園(所)名	所在地
㊦	ラビキッズワールドイオンモール榎原保育園	曲川町イオンモール内1F
㊧	ほれほれ保育園	北越智町
㊨	わくわく保育園	飯高町

番号	園(所)名	所在地
第1こども園		
K	藤原京保育所	四分町
	藤原京保育所(分園)鴨公幼稚園	縄手町
第2こども園		
L	今井保育所	今井町
	今井保育所(分園)今井幼稚園	今井町
第3こども園		
M	金橋保育所	雲梯町
	金橋幼稚園	
第4こども園		
N	大久保保育所	大久保町
	大久保保育所(分園)畝傍北幼稚園	大久保町
第5こども園		
O	川西保育所	川西町
	新沢幼稚園	

㊦ 分庁舎(ミグランス)(子育て総合窓口)
㊨ 保健福祉センター